

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後デイサービスひだまりきっずPlus		2026 年 3 月 1 日					
	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	床や壁にあえて掲示物や玩具などを置かない。 職員と利用者の間に死角をつくらず見た目をすっきりさせ、空間を確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	基準配置を満たし、専門的加配もできています。	個々の発達の実態に合わせた支援のため職員の専門知識や支援のご術を高めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	事業所の内部や設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされています。 放課後デイサービスが2階にあり、階段での移動になるがエレベーターの設置はありません。	トイレが健常者用であるため、身体障害への対応に制限があります。 利用者の実態に合わせて個別に視覚支援を行なっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	天井が高いため開放感がある。静と動の活動に療育室を使い分け5領域に対応する内容を展開している。 気持ちの切り替えに有効。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	タイムアウト法を習得できるように、専用のカームダウンルームを完備している。 カームダウンルームの活用が適宜できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	少しずつ職員に自覚が芽生えてきた。	全体での振り返りが必要と感じています。全員が自分の意見をもち、次の目標が決められる時間に行っていきたいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	今回の機会を業務改善につなげていきたい。	今回のアンケートでの意見を療育に反映し、発信できるようにしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	終礼にて職員共有の時間がある。	毎回の終礼を職員一人一人が自己の改善点が具体的に発信する場としていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	第三者評価は初年度で行われていない。	次年度には行いたいと考えています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	研修が様々で、自分に適当なものがよくわからない。	必要な知識や経験年数に合わせ個々のキャリアプランに合わせたものを推奨していきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	作成はされているが公表はされていない。	アプリ上で公開しているが、効果的とは言えない。活動カレンダーやお便りのようなものが有効かは今後協議していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		担当が主に起案し、周りの職員が分担してアシストしています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	当日の担当職員から説明や共有がある。	全員が確認や認知ができるようにミーティングスケジュールを明確にします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼で振り返りを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		全員が確認や認知ができるようにミーティングスケジュールを明確にします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		多種連携の体制作りは今後の課題になっています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		保育所等訪問支援は行っていないが、自主的に保護者の合意を得て、訪問や観察を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	1年目で中・低学年が中心なので小学校、中学校は無い。こども園より小学校へ1名。情報共有は今後行う予定。 該当者なし。	該当する利用者を対象に今後行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		該当する利用者を対象に今後行っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		今後、自由参加での実施を考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		今後、積極的な参加を考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2		全員が確認や認知ができるようにミーティングスケジュールを明確にします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		今後、情報交換会や交流の場を設定し、家族支援につなげる活動を考えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		子どもの変化や日頃の観察、送迎時の学校での様子を共有し、相談支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5		今後、情報交換会や交流の場を設定し、家族支援につなげる活動を考えていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		更新の頻度を今後は上げていきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	2		該当のケースが今のところないが、言語や手話、視覚支援の環境等、事前準備をしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		地域への認知がまだ低いと感じています。。今後の課題として広報的な部分にも力を入れていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		災害時の引き取り訓練など、保護者間との連携の訓練を計画中です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		終礼で報告される件は全て記録したヒヤリハットを毎月一覧にして、パートを含む全職員に周知しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			